

第1回 上井出小学校のこどもたちの未来を考える協議会

日時：令和8年2月16日（月）

午後7時から8時30分まで

場所：上井出区民館

次 第

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会長及び副会長選出
- 5 議事
 - (1) こどもたちの未来を考える協議会の進め方・・・資料3
 - (2) 上井出小学校の再編に関する教育委員会からの提案・・・資料4
- 6 次回の予定
- 7 閉会

上井出小学校のこどもたちの未来を考える協議会 委員名簿

任期：令和8年2月16日から協議が終了するまで

区分	氏 名	備 考
1号	太田 雅人	
	内野 裕太郎	
2号	佐野 千春	
	高見 亜希恵	
3号	渡邊 賢一	上井出区長
	赤池 龍記	芝山区長
4号	芦澤 秀典	富士宮市議会議員

【参考】

こどもたちの未来を考える協議会設置要綱（抜粋）

（所掌事務）

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議し、教育委員会に意見書を提出する。

- (1) 対象校の再編の方向性に関する事項
- (2) その他対象校の再編に関し必要な事項

（組織）

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が依頼する。

- (1) 対象校の児童又は生徒の保護者
- (2) 対象校の通学区域内に居住する未就学児の保護者
- (3) 対象校の通学区域内の地域住民の代表者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

こどもたちの未来を考える協議会設置要綱

(設置)

第1条 富士宮市立小中学校の再編を進めるに当たり、学校再編の対象となる学校（以下「対象校」という。）ごとに、こどもたちの未来を考える協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議し、教育委員会に意見書を提出する。

- (1) 対象校の再編の方向性に関する事項
- (2) その他対象校の再編に関し必要な事項

(組織)

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が依頼する。

- (1) 対象校の児童又は生徒の保護者
- (2) 対象校の通学区域内に居住する未就学児の保護者
- (3) 対象校の通学区域内の地域住民の代表者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

3 委員は、無報酬とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、依頼の日から第2条に規定する所掌事務が終了するまでの期間とする。

2 委員が欠けたときは、必要に応じて補充するものとし、その任期は前任者の残任期間とする

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、教育委員会事務局教育部教育総務課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則 (令和7年10月10日教育長決裁)

この要綱は、教育長決裁の日から施行する。

こどもたちの未来を考える協議会の進め方

1 目的

こどもたちの未来を考える協議会（以下「協議会」という。）は、学校再編の対象となる学校区の地域住民、児童の保護者及び未就学児の保護者等を委員として、こどもたちの未来を第一に考え、地域主導で学校再編の方向性を協議する場です。

2 協議内容

- (1) 学校再編に関する方向性
- (2) その他学校再編に関し必要な事項

3 開催回数・期間

基本的には、開催回数は3～5回程度、期間は半年～1年程度を見込みます。ただし、協議会の進捗状況によってはこの限りではありません。

4 協議会の進捗状況の周知

協議会の進捗状況を地域住民に周知するため、協議会の内容をまとめた「こども協議会だより（資料3-1）」を作成し、市のHPへの掲載や上井出地区への回覧を実施します。

5 協議の終了

学校再編の方向性が決定したら、意見書（資料3-2）を作成します。その後、意見書の内容が決定したら、協議を終了します。

6 意見書の提出

決定した意見書については、会長・副会長が教育長に提出します。

7 協議会終了後の流れ

(1) 代表者会議

学校統合を行う学校の協議会から代表者をそれぞれ選出し、代表者同士で統合時期や統合校の名称等を決定する。

(2) 統合準備委員会

(1)の代表者に学校の教職員を加え、学校の統合を円滑に進められるよう、学校の統合に関する具体的な事項を決定する。

8 会議の公開

会議は原則公開とします。

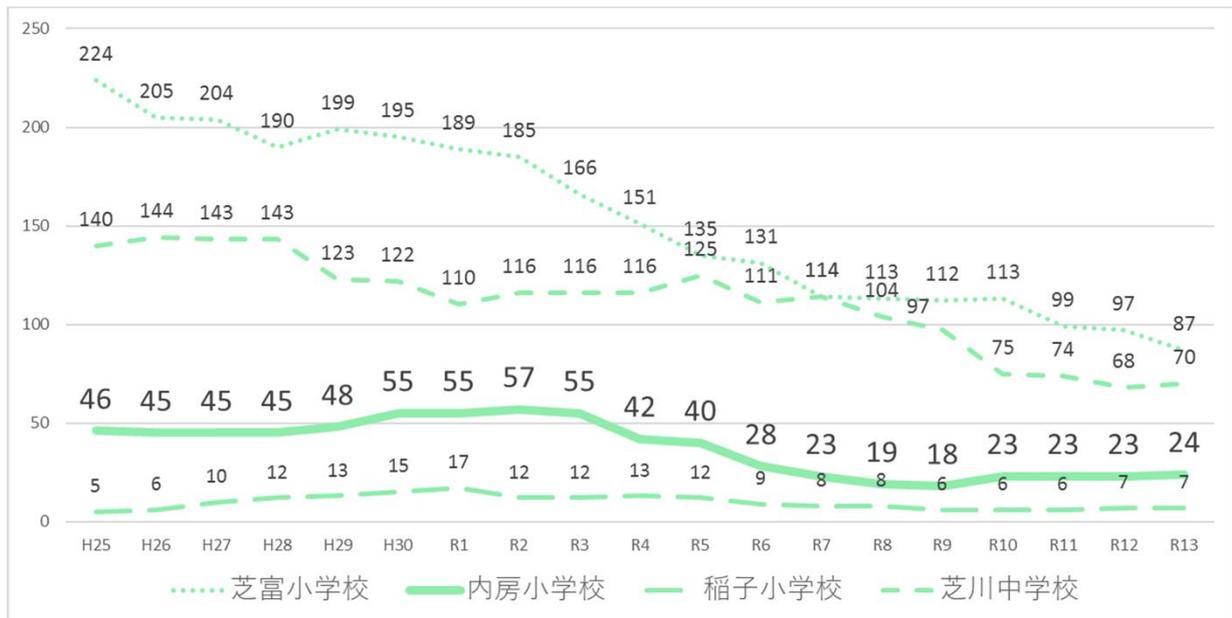
内房小学校

こども協議会だより

学校の再編の背景

少子化による児童生徒数の減少に伴い、富士宮市では令和6年4月に「富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を定め、複式学級が存在する学校等の再編を進めています。内房小学校でも令和7年5月1日現在の全校児童数が23人で、全てのクラスが複式学級となっています。

表 芝川中学校区の児童生徒数の推移



こどもたちの未来を考える協議会を設置

このような状況を踏まえ、内房小学校の児童の保護者や内房地区にお住まいの方々との意見交換会を経て、内房小学校の再編の方向性について話し合う内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会（こども協議会）を設置しました。

令和7年11月5日第1回のこども協議会を開催

内房小学校の児童の保護者や内房地区在住の未就学児の保護者、内房地区の区長、内房地区在住の市議会議員計11人を委員として、第1回のこども協議会を令和7年11月5日に開催しました。

会長・副会長を選出

教育委員会から、会長を望月内房第2区長、副会長を高木PTA会長として提案し、委員の皆様にご承認いただきました。

教育委員会からの提案

教育委員会では、これまでの意見交換会から統合についてスピード感をもって進めてほしいという意見を踏まえ、教育委員会から内房小学校について芝富小学校への編入統合を提案しました。また、提案としては、①令和9年4月統合案、②令和10年4月統合案の2案を示しました。

委員からの意見

これに対して、委員からは次のような意見が出されました。

- ・内房中学校と稲子中学校と芝富中学校が一緒になって芝川中学校になったように三校が一緒になって芝川小学校になったら良い。
- ・意見交換会では今回のような具体的な提案がなかったので、この提案を受けてもっと意見が出せると思う。
- ・人数が多ければ多い方が良いのは分かるが、現状で困ってないと言っている人もいます。
- ・富士宮市の子どもたちが同じような環境で教育を受けさせたいと思う。
- ・反対する方にも寄り添うために反対意見に対する回答を示してほしい。

協議会に関するQ&A

Q1 この協議会で何が話し合われるの？

A1 内房小学校の再編の方向性や再編に関して必要なことについて話し合います。

Q2 今後はどのようなスケジュールで進むの？

A2 およそ2か月に1回の間隔で協議会を開催し、半年から1年をかけて教育委員会に提出する意見書の内容を決定します。

【次回の開催日程・会場】

- ・令和8年1月21日（水） 午後7時から
- ・芝川公民館内房分館

※当日の傍聴も受け付けています。

発行：富士宮市教育委員会教育総務課

住所：富士宮市弓沢町150番地

電話：0544-22-1182

Mail：e-somu@city.fujinomiya.lg.jp

令和〇年〇月〇日

富士宮市教育委員会 教育長 望月 俊伸 様

上井出小学校のこどもたちの未来を考える協議会
会長 〇〇 ◆◆

上井出小学校の再編に関する意見書

現在、全国的に少子化が進んでおり、上井出小学校においても平成25年度には〇人いた児童が、令和7年度には〇人にまで減少しました。

こうした状況を鑑み、上井出地区の区長や上井出小学校の児童の保護者等を委員とする上井出小学校のこどもたちの未来を考える協議会を設置し、学校統合のあり方や上井出小学校のこどもたちにとってより良い教育環境について協議を重ねました。

協議の結果、上井出小学校について、西富士中学校区の小学校との統合を行うべきとの結論に至りました。

つきましては、その趣旨を御理解いただき、統合に際して下記の事項の実現に努めていただきますようお願いいたします。

記

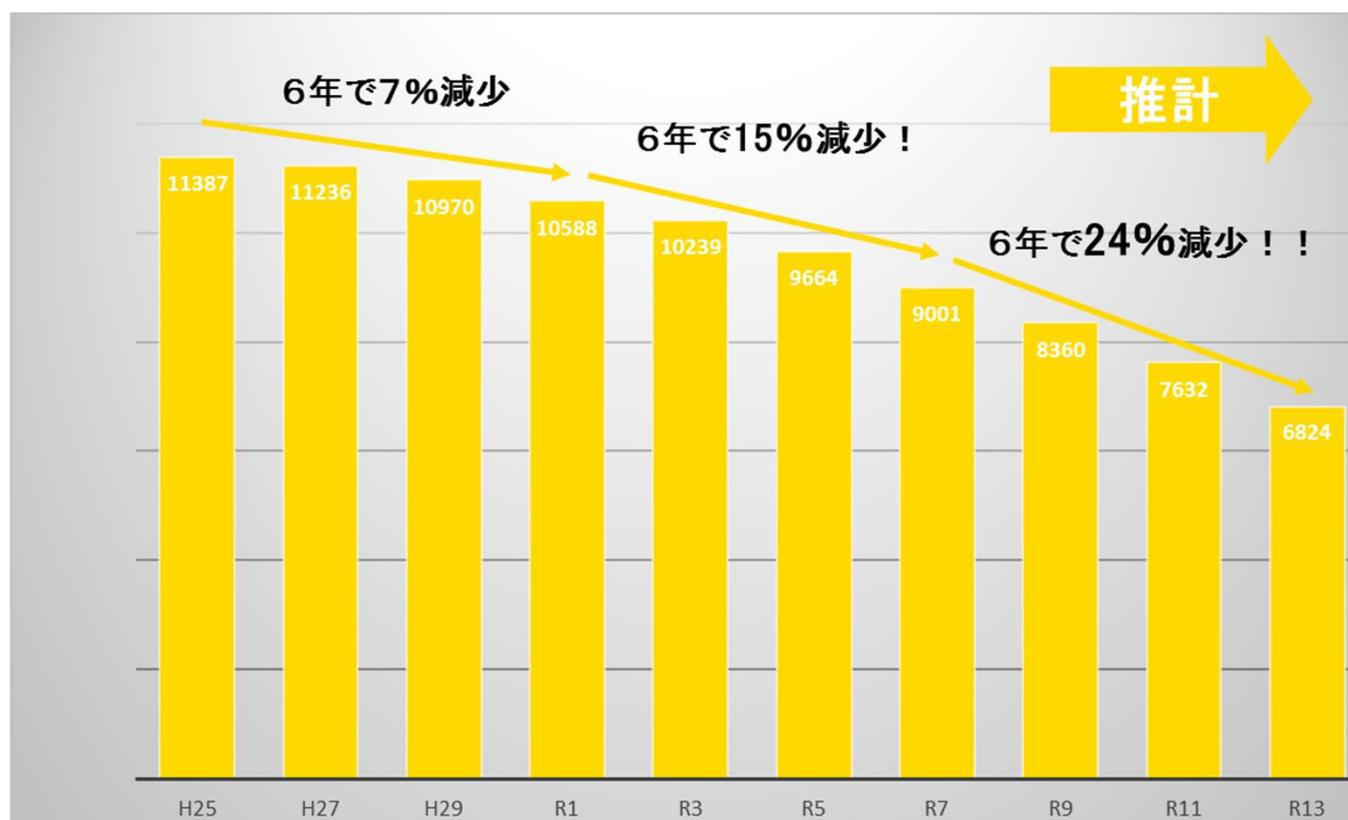
- 1 統合により学校が遠くなってしまうこどもに対する通学支援を行うこと
- 2 放課後児童クラブについて措置をすること
- 3 学校跡地の利活用については地域の意見を踏まえて検討すること
- 4 統合までの間、各小学校との交流事業を充実させること
- 5 運動着等の学用品については必要な助成を行うこと

上井出小学校の再編に関する 教育委員会からの提案

- I 現状と課題～学校再編の必要性～
- II 学校再編によって得られる効果
- III 教育委員会からの提案
- IV (参考) 上井出小学校における意見交換の状況

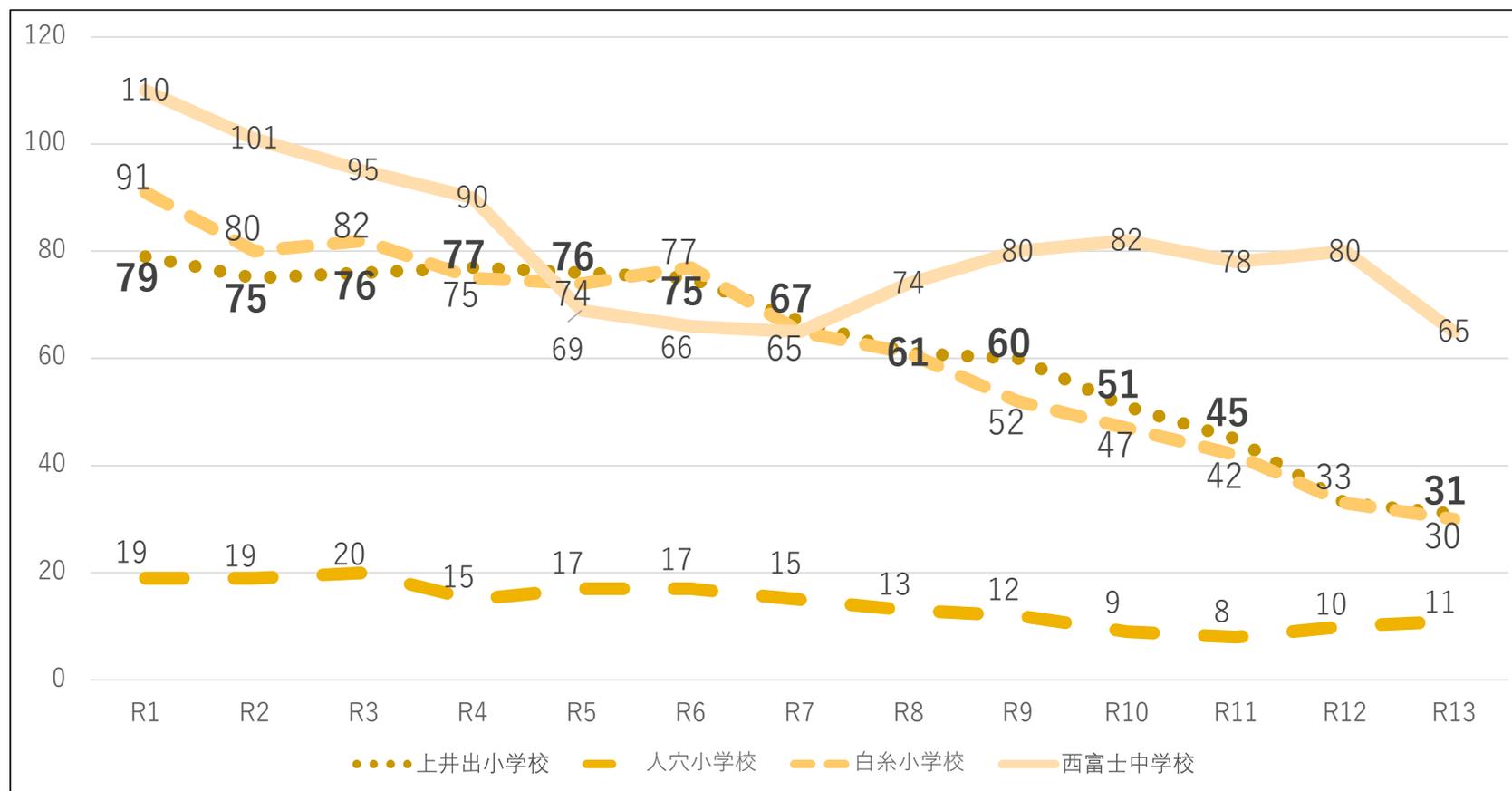
I 現状と課題～学校再編の必要性～

1 富士宮市全体の児童生徒数の推移



I 現状と課題～学校再編の必要性～

2 西富士中学校区児童生徒数の推移



Ⅰ 現状と課題～学校再編の必要性～

3 今の時代に求められる学校教育～令和の日本型学校教育～

- ・令和の日本型学校教育とは…

すべてのこどもたちの可能性を引き出す、

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

◇個別最適な学び

児童生徒一人ひとりの学習進度や個性に合わせて学びを深めること

◇協働的な学び

児童生徒が他者と協力しながら学び、問題解決を行う取組

⇒そのため、1クラス当たりのこどもの数が減ることにより、二つの学びの一体的な充実が難しくなる可能性があります。

I 現状と課題～学校再編の必要性～

4 学校施設の老朽化

校名	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数	長寿命化 工事
上井出小学校	2,666	1978	47	H26
人穴小学校	2,106	1978	47	R3
白糸小学校	3,619	1971	54	R2
西富士中学校	4,858	1967	58	R4

II 学校再編によって得られる効果

1 児童数の増加による複式学級の解消

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	児童数計
学年				年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	
上井出小	6	2	3	6	8	6	8	14	9	15	9	12	67
人穴小	2	4	2	1	0	2	1	2	3	4	1	4	15
白糸小	2	5	4	5	9	5	5	14	9	10	18	9	65
R7	10	11	9	12	17	13	14	30	21	29	28	25	147
R8		10	11	9	12	17	13	14	30	21	29	28	135
R9			10	11	9	12	17	13	14	30	21	29	124
R10				10	11	9	12	17	13	14	30	21	107
R11					10	11	9	12	17	13	14	30	95
R12						10	11	9	12	17	13	14	76
R13							10	11	9	12	17	13	72

小学校が統合することにより、将来的な複式学級の解消につながります。

II 学校再編によって得られる効果

2 一学級あたりの人数が増えることによる教育効果の向上
下記のようなメリットが考えられます。

- (1) 多様な価値観に触れることにより資質・能力を伸ばし、社会性を育む。
- (2) 一定の人数を確保することで、運動会、文化祭、修学旅行等の集団活動が充実化します。また、体育の球技や音楽の合唱、班活動などを制約なく行うことができる。

II 学校再編によって得られる効果

3 小中学校の円滑な接続

下記のようなメリットが考えられます。

- (1) 小学校から中学校に進学する際に、新しい人間関係を一から構築するといったストレスが軽減される可能性があります。
- (2) 小中学校間の連携が円滑化し、9年間を見据えた学びの体制をつくることができます。

4 教育環境の整備の充実化

統合することにより校舎が集約されるため、教育環境の整備（例：トイレの洋式化、施設修繕）が加速化します。

III 教育委員会からの提案

**以上を踏まえ、西富士中学校区は、
小学校を1校に集約します。**

IV (参考) 上井出小学校における意見交換の状況

- 1 学校の望ましい教育環境に関する保護者懇談会 資料4-1
日程：令和6年10月11日
対象：児童の保護者
- 2 少子化に伴う上井出小学校の今後を考える保護者との意見交換会 資料4-2
日程：令和7年10月18日
対象：児童の保護者
- 3 少子化に伴う上井出小学校の今後を考える意見交換会 資料4-3
日程：令和7年11月27日
対象：上井出地区の住民

【上井出小学校】学校の望ましい教育環境に関する保護者懇談会の概要

日 時：令和6年10月11日（火）午後7時から8時まで

会 場：上井出出張所

参加者：13人

主な意見**【適正化について】**

- ・クラス替えがあった方が、いじめがあったときに対応が容易にできるように思う。
- ・市民側の準備もあるため、早めに方針を出してほしい。
- ・これ以上人数が少なくなると複式学級になってしまうと、学力の面で心配。
- ・これ以上人数が少なくなってしまうのであれば、どこかの学校と統合して1クラス15人～20人にした方が良いと思う。

【こどもの数について】

- ・先生がよく手をかけてくれるので今の人数が理想。
- ・少ないからこそ社会科見学などを受け入れてくれるところもある。
- ・こどもには多くの人と関わって、多様な価値観に触れてほしい。
- ・人数が少なくなりすぎると運動会などの行事でできることが限られてしまい、こどもたちがかわいそう。
- ・こどものコミュニティが10人を下回ってしまうと、それ以上の人数とのかかわりに対応できるのか心配。

【その他】

- ・こどもの人数が少なくてもうまくいっている事例が知りたい。
- ・小規模特認制度を利用することも考えたい。

少子化に伴う上井出小学校の今後を考える保護者との意見交換会 報告書

日時：令和7年10月18日（土）午後0時55分から午後1時25分まで

会場：上井出小学校 体育館

参加者：34名

主な意見・質問

【統合について】

- ・学校の維持費や教員の確保を考えると統合した方が良い。
- ・井之頭小学校も含めて北部全体での統合を視野に進めていけば、もっとスムーズにいくのではないか。
- ・統合する場合にどの学校に集まるのか決まっているのか。
- ・統合には賛成で、複式学級は回避してほしい。複式学級の場合、学力が低下するの
か心配だが、そのようなデータはあるか。

【規模について】

- ・こどもの数が少なくなってきて、今後どうなってしまうのだろうかというのは保護者
の間で話すこともある。
- ・1クラスにたくさんはいなくても、こどもたちが協力し合うとか、授業の内容を考
えても10人程度の人数がいた方が良いのかなと思う。
- ・富士宮市の適正規模である1学年2学級以上に違和感がある。恐らく富士宮市全体
での考え方だと思うが、地域ごとに細分化して見ていく方が良いと思う。
- ・コミュニティが小さくなりすぎると、高校に進学した時にギャップが大きくて躓く
子も出そう。コミュニティが限定されすぎると、多様性を認める力が身につかないこ
とが心配。

【通学区域について】

- ・指定校変更で上井出小学校に通っているが、中学校は自分の通学区域の学校に通わ
なければならない状況のため、小学校も中学校も統合して通いやすい環境にしてほし
い。
- ・北山、山宮から上の方の地区は通学区域を自由化した上で、例えば、北山や山宮の
方にこどもが流れていくのであれば、それも統合の判断材料にしたらどうか。

【市の進め方について】

- ・ 今回の説明資料に井之頭小学校が入っていないのはなぜか。
- ・ 他自治体の話を聞くと、富士宮市は非常に丁寧に進めていると感じる。
- ・ 白糸小と上井出小が統合しても、この出生数だと数年後には北山小と統合してというのを繰り返すと、保護者は困惑してしまう。市の大枠としての構想を伺いたい。
- ・ 現時点で、市がどのように考えているのかが分からない、情報がないのに、短時間での意見交換はなかなか難しいと感じた。市としてはこんな提案がある等の事前情報があったからの意見交換会の方がもう少し具体的な意見が出たように思う。

【その他】

- ・ 視点を変えて児童数を増やす取組も考えた方が良くと思う。上井出は調整区域で区民以外は新築できないと聞いた。例えば、学校から半径 3km 以内は対象外とする規制緩和で、児童数を増やせる可能性があるのではないかと考える。

少子化に伴う上井出小学校の今後を考える意見交換会 報告書

日 時：令和7年11月27日（木）午後7時から8時まで

会 場：上井出出張所

参加者：15名

主な意見・質問

【小中一貫校について】

- ・西富士中学校に統合するとして、中学校の耐震性は大丈夫か。
- ・小中一貫校にするのが良いのではないか。
- ・上井出地区の人は上井出小学校が良い、白糸地区の人は白糸小学校が良いと言う。だから、過去に西富士中学校ができたように、西富士小学校にした方が効率が良い。

【広域的な統合について】

- ・はじめに西富士中学校区で再編を進めて、その後、人数がさらに少なくなってきたら北山、上野も含めてというふうに考えてよいか。また、北山、上野まで含めて考える年数の間隔はどの程度か。
- ・北山、上野も含めた大きな統合をすると見込んでいるなら、小さい統合をする必要はないのではないか。

【今後の進め方について】

- ・統合する場合、スクールバスを市で手配するのが前提になっているのか。もしくは、市で手配できないから財産区で用意してほしいということにはならないか。
- ・再編にあたっては、現場でこどもの様子を見ている教職員の意見も汲む必要がある。立場に配慮しながらアンケートを取ったり、可能なら協議会に加わってもらったかどうか。
- ・協議会を開催する期間とゴールはどのように考えているか。
- ・最終的にはこどものことを主にして考えていっていただきたい。
- ・今、コミュニティ・スクールを実施して地域で学校をより良くしていくという方向性で進んでいるが、学校を一つにした場合に地域性が薄まって、その辺がうまく回らないのではないかと思うので、そういった点を踏まえて総合的に考えていってほしい。
- ・市では人口減少対策としてはこんなことをやっていますということもあわせて話をしていただければ、話が入ってくる。

【その他】

- ・人を増やすことを市として考えてほしい。
- ・井之頭小学校の児童数の推移はいかがか。また、井之頭小学校ではどのような話し合いが進められているのか。